である。労働者が組合を組織して雇主に対して自己の利益を擁護することは労働者の道徳的な権利であるばかりでなく当然積極的に公認したところの権利である、

今日では社会には雇主たる資本家の階級と被傭者たる労働者の階級とに分かれており、資本家には資本家の利害があり、資本家階級全体に共通した利害がある。資本家階級は共通の利益を擁護するためには紡績業者には全国紡績聯合会があり、船舶業者には日本船主協会があるばかりでなく、工業倶楽部、経済聯盟、実業聯合会の如き、あらゆる産業の資本家が打って一丸とした有力な団体があって資本家階級全体の利益の増進を計っている。その如く被傭者たる吾吾労働者は労働組合によって各自の利益を増進すると合わせて一事業・一会社に於ける労働者全体の利益を擁護し、同一職業、同一産業の労働者全体の利益を擁護し、更に進んでは組合の全国的団結によって労働階級全体の利益を擁護し、これに併せて十分努める。

労働階級全体としての生活が向上しなければ各自の生活を向上せしめることは出来ない。労働階級全体が資本家の搾取から解放せられぬ限りは一部の労働者のみが資本家の搾取から解放せられることは出来ない。組合運動は労働階級全体の解放を図って団結するこの労働者の団結である。またこの労働者はこの団結に参加すべき義務と責任がある。この解放の闘いに参加せぬ労働者は自分自身の利益と労働者全体を裏切るものである。同時に労働階級全体の利益と幸福に裏切りをするものである。故に吾が神戸海上労働組合は[illegible]員及び労働者の労働条件を改善しその利益を擁護しその生活の向上を計ることを当面の目的とすると同時に我国海運事業の発展と職業的利益を表わし提供し以て労働組合全体の共同の団結に参加しなければならぬ。